

特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本校インターナショナルコースでは、海外帰国子女受け入れ指定校として長年にわたり語学教育の分野で実績を上げてきた広尾学園インターナショナルコースと連携、協働し、これからの中等教育機関にとって重要な役割の一つとなっている。

本コースでは英語・数学・理科および社会（地歴・公民）の一部について、外国人教員による授業を通して、学習指導要領に沿った内容を英語で学ぶ。これにより、現代社会が目指すグローバル教育を効果的に実践している。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

社会のグローバル化が進む中、海外帰国子女の受け入れは、特に東京都に設置された中等教育機関にとって重要な役割の一つとなっている。

また、生徒が今後活躍する世界は、多様な価値観を持つ多くの人々が共に生きる共生社会である。そのため、高いコミュニケーション能力の育成は中等教育段階における重要な課題である。

本校では、海外の高校生と同等以上の英語力や、英語での論理思考力などを中高一貫で身につけさせ、大学および社会が求める国際的素養を備えた人材を育成することを目的として、インターナショナルコースを設置している。

2024年度 広尾学園小石川教育課程特例校評価（自己評価）

評価項目	評価内容	評価
学習状況	<p>中学・高校インターナショナルコースは、主要科目を中心に外国人教員より英語で学ぶ。 各教科の使用言語一覧下記資料（p.27）を参照 https://hiroo-koishikawa.ed.jp/dp/2026/guidebook/#page=29</p> <p>各コースにおける授業満足度を生徒による授業評価（5段階評価）で測定。 A: 4.0～5.0 B: 3.0～3.9 C: 2.9以下</p> <p>[中学インターナショナルコースAG] 英文学・数学・理科・社会・美術・技術を外国人教員から英語で学ぶ。 各教科の授業満足度はおおむね高かったか。</p>	A
	[中学インターナショナルコースSG] 英語・美術・技術を外国人教員から英語で学ぶ。 各教科の授業満足度はおおむね高かったか。	A
	[高校インターナショナルコース] 英語・美術・技術を外国人教員から英語で学ぶ。 各教科の授業満足度はおおむね高かったか。	A
学習効果 進路実績含む	<p>中学インターナショナルコースAG・SGの生徒は、高校進学時に本科またはインターナショナルのいずれかを希望できる。 希望コースへの進学には、試験を伴う場合がある。</p> <p>高校インターナショナルコースでは、生徒一人ひとりが国内外を問わず志望校を定め、進学準備を進めている。</p> <p>海外大学合格一覧 下記資料（p.37）を参照 https://hiroo-koishikawa.ed.jp/dp/2026/guidebook/#page=39</p> <p>評価基準 A: 100～90% B: 89～70% C: 69%以下</p> <p>[中学インターナショナルコースAG] 中学インターナショナルコースAGから高校進学時に希望通りのコースに進学できたか。</p>	A
	[中学インターナショナルコースSG] 中学インターナショナルコースSGから高校進学時に希望通りのコース（本科/インターナショナル）に進学できたか。	A
	[高校インターナショナルコース] 高校インターナショナルコース卒業時は、高校入学時より学力を伸ばすことができていたか。 *評価は中学3年10月実施のPSATの点数と高校3年卒業時のSATの点数の伸びで評 (PSAT1520点満点)の時点で1400点以上であった生徒のデータは除く) A: +200点以上 B: +199～100点以上 C: +99以下	A
情報発信	特例校実施について、学内外へ十分な発信ができていたか。 A: 十分達成 B: 達成 C: 不十分	B
評価実施	特例校実施効果をより高めるために、議論を頻繁に重ねたか。 A: 十分達成 B: 達成 C: 不十分	B